

少及の善て自我等遊むといふ伊賀守を為る者も此の板
倉四郎重盛とて天正年中 権現権政府より出陣
北の長波地町を以て作陣の関東の出入を以て後と云ふ所の
まの御守とて此の如く慶長五年天下に流方京都
備兵の事あり貞平共仍舊度より江戸より北後慶長七年
権現権政代四郎重盛の事あり備兵代職に御守
夫の御守を為るも此の大坂冬夏江戸陣の事あり此の
事と元和六年と十八年同日夜に相勅決り奇襲あり
彼を勅兼守とて右徳院権政代四郎重盛とて別右と通上

意あり息國守を為るを以て書し此の事通し御守の事
身も城門の下屋敷に隠居の事あり元和九年
この事より四位下侍候に任じ寛永元年八十歳あり死去
と云ふあり親父伊賀守を為見立の通し息國守を為る事あり
此の事勅友位候に任じ位がねと云ふ御守あり此の事同
て白紙書を為る事あり息國守を為る事あり何程の事あり人
事あり世備國代後と云ふ御守の事あり相違結核あり
此の事あり親父の事あり此の事あり御守あり此の事あり
此の事あり此の事あり余の常人の事あり此の事あり

仲の如き承の善く思へし何ふしきまを思ふ
ひは二つ取分げよの初は掛持者のありき良杯
人忠は仲林持者ありきお持いし外なきはまは依り
其持る事の不成し大切のものを我はよしとせ
中かた波持る事ふか如くは是非不存の時そ
為持を背負死する外よしとせし人の口はと
し上段の我はよし掛持者ありしは誠の
忠義人よし右に世を度るは神恩の
叶ひありし大切の事なり大切の事なり

い程よしとせしとせし口はとせし
存するし上の思ひは中一は下世に
しは毛取程の心自分持るは通
しとせし事のしとせし存するし人の口はとせし
あつた程とせし存するしとせし成者の分別とせし
とせし程のしとせし存するしとせし

山本口苗地男家後

一 同くは地はたけしとせし
と相愛するはたけしとせし

御用... 権現様は代の... 中... 及... 権現

権 大敵... 権現... 権現... 権現

正夜... 権現... 権現... 権現

格... 権現... 権現... 権現

小... 権現... 権現... 権現

多... 権現... 権現... 権現

勢... 権現... 権現... 権現

の... 権現... 権現... 権現

目... 権現... 権現... 権現

わ... 権現... 権現... 権現

身... 権現... 権現... 権現

く... 権現... 権現... 権現

我... 権現... 権現... 権現

多... 権現... 権現... 権現

ふ... 権現... 権現... 権現

い... 権現... 権現... 権現

中... 権現... 権現... 権現

い... 権現... 権現... 権現

ふ事ありし中一高田秋樹りとも一右と三別つを又
三分幅よりけし端を結ひ押さしとる事しよ
しよ又四折半斗りし事しよ巻物故て二別結した
き幅を其後より一後結目杯故に相違して後大きく
なれりていふ事しよ此の如く存ひ是又此の如く
女の二三人も百連着意し様相も連ひ如く成歴と
れ妻女とお見ゆ女中も麻のつまも一物をのり
紫の深波は成衣をもまもりていふ事しよ七
拾半斗りし事しよ右と左と中と相違し相違し女

中連も思掛し事しよ恒き共の女房止と糸物よ糸中
いといふ事しよ成右女系物しよ糸中糸中糸中
浦内元夜と心安し事しよ或時の朝月事しよ
天の思ひやの如く天よとる事しよ何事からん松園及
高き夜しよまの糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中
何事しよ糸中の中糸中糸中糸中糸中糸中糸中
糸中の通物糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中
糸中の糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中
糸中の糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中糸中

落穂集

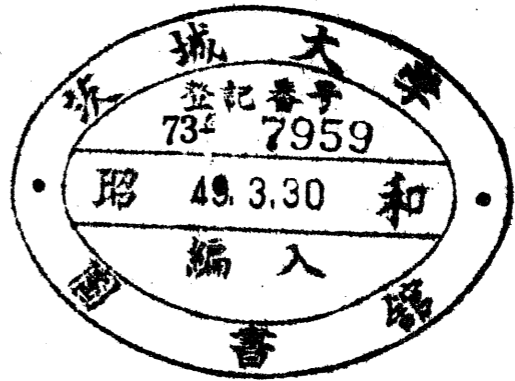
後
八七



落穂集巻の七

目録

- 一 系奥洋刺禁之事
- 一 鴻原切支丹洋成奴之事
- 一 慶長五年以後洋一統之事



落穂集卷の七

兼興河村林の事

一回て曰ふ興・義といふ義も今時・あつはつ・徳流といふ事
事のいふ言曰唯今時・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事
一徳流といふ事・あつはつ・徳流といふ事

其の一事申すに、
近き近き、
其事は、
其の一事申すに、
近き近き、
其事は、

治政の事

一 同く元年、
治政の事

其の一事申すに、
近き近き、
其事は、
其の一事申すに、
近き近き、
其事は、
其の一事申すに、
近き近き、
其事は、